



21:27 ところが、その七日の期間が終わろうとしていたとき、アジアから来たユダヤ人たちは、パウロが宮にいるのを見ると、群衆をみな扇動して、彼に手をかけ、
 21:28 こう叫んだ。「イスラエルの皆さん、手を貸してください。この男は、民と律法とこの場所に逆らうことを、いたるところで皆に教えている者です。そのうえ、ギリシア人を宮の中に連れ込んで、この神聖な場所を汚しています。」
 21:29 彼らは、エペソ人のトロフィモが町でパウロと一緒にいるのを以前に見かけていて、パウロが彼を宮に連れ込んだと思ったのである。
 21:30 そこで町中が大騒ぎになり、人々は殺到してパウロを捕らえ、宮の外へ引きずり出した。すると、ただちに宮の門が閉じられた。
 21:31 彼らがパウロを殺そうとしていたとき、エルサレム中が混乱状態に陥っているという報告が、ローマ軍の千人隊長に届いた。
 21:32 彼はただちに、兵士たちと百人隊長たちを率いて、彼らのところに駆けつけた。人々は千人隊長と兵士たちを見て、パウロを打つのをやめた。
 21:33 千人隊長は近寄ってパウロを捕らえ、二本の鎖で縛るように命じた。そして、パウロが何者なのか、何をしたのかと尋ねた。
 21:34 しかし、群衆はそれぞれに違ったことを叫び続けていた。千人隊長は、騒がしくて確かなことが分らなかったのので、パウロを兵営に連れて行くように命じた。
 21:35 パウロが階段にさしかかったとき、群衆の暴行を避けるために、兵士たちは彼を担

ぎ上げなければならなかった。
 21:36 大勢の民衆が、「殺してしまえ」と叫びながら、ついて来たからである。
 21:37 兵営の中に連れ込まれようとしたとき、パウロが千人隊長に「少しお話ししてもよいでしょうか」と尋ねた。すると千人隊長は、「おまえはギリシア語を知っているのか。」
 21:38 では、おまえは、近ごろ暴動を起こして、四千人の暗殺者を荒野に連れて行った、あのエジプト人ではないのか」と言った。
 21:39 パウロは答えた。「私はキリキアのタルソ出身のユダヤ人で、れっきとした町の市民です。お願いします。この人たちに話をさせてください。」
 21:40 千人隊長が許したので、パウロは階段の上に立ち、静かにするよう民衆を手で制した。そして、すっかり静かになったとき、ヘブル語で次のように語りかけた。

アジアから来たユダヤ人とは、五旬節の祭りのためにエペソ地方からはるばるエルサレムに来た人々で、かつてパウロが彼の地で宣教したときにトロフィモと一緒にの場所を見たようです。恐らくパウロを迫害した人々でしょう。
 パウロにとってはどこで災難に遭うかわからないといった出来事です。しかしここでも主は彼を守ってくださいました。
 騒ぎが大きくなったことは恐れることですが、しかしそのおかげで千人隊長が来て、結果的にパウロを守ることになりました。またパウロがギリシア語を話すことによって、千人隊長が興味を持ち、ローマの市民権を持っていることを伝えることができました。それが弁明と証しのチャンスになったのです。
 主は思いがけない人（または事）を通して助け

てくださいます。主の全能に期待しましょう。また主が与えてくださった恵や賜物が用いられるように導いてくださいます。大いに学び、また働きのために備えましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

